

教科名	美術	科目名	素描（2・3年次）【4単位】	
授業形態	実技（デッサン）が中心			
選んでほしい生徒	美術系への進学や、将来、デザイン、建築関係の仕事に就きたいと考えている人。受験に備えての美術に興味があり、絵画やデザインなどの作品を制作したいと思っている人。			
科目の目標	鉛筆デッサンを主体とした基本的な内容から、受験に備えての高度な描写力を付けるための実技により、感性と表現力を高める。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> クロッキーやスケッチなど、短時間で対象物を表現する力を付ける。 対象物の細部まで描き込んだリアルな表現力を付ける。 様々な描画材料を体験し自己のイメージを具現化する力を付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 幾何形体の表現 静物デッサンなど <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 石膏デッサン 木炭デッサン 静物デッサンなど <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 混合技法 コンテ画など 		<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆デッサンの基礎的な内容を学び表現力を付ける。 木炭デッサンの基礎的な内容を学び、木炭の特性を生かした表現力を付ける。 様々なモチーフを組み合わせて想像の世界を表現する。 コンテ画の基礎的な内容を学び、表現力を高める。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現を工夫して表している。	・美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 表現する技術の向上に努めながら、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢を大切にす。 用具の準備・片付けは基本的な生活習慣、大切なマナーであるという意識を持って授業に臨む。 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度をたかめ、未提出作品がないよう留意すること。 			
教材費	約3,000円（クロッキー帳・鉛筆・用紙 等）			
その他	対象物の観察力と表現力が高まることにより、専門的な内容の理解が深まり、生涯にわたって美術に関わることを目指している。			